

令和2年度三重大学大学院人文社会科学研究所（修士課程）入学試験問題

試験科目〔専門科目：科目名 東洋史 〕

枚数表示	1/1	受験番号	
------	-----	------	--

問1 漢籍の分類法である四部分類について、(1) 各部の説明をしたうえで、(2) あなたの研究テーマに有用な史料が何部のどのような史料であるか、有用な理由を含めて具体的に日本語で述べなさい。

(※解答用紙1/3に記入すること。)

問2 宋代以降の中国は、科挙によって、唐代以前と比較してどのように変化したと考えられているか、日本語で説明しなさい。

(※解答用紙2/3に記入すること。)

問3 下記の文章は、黄瑜「禁水火葬」(『双槐歳鈔』卷一)である。この漢文史料を現代日本語に訳しなさい。

(※解答用紙3/3に記入すること。)

聖祖嘗與學士陶安登南京城樓、聞焚尸之氣、惡之。安曰、古有掩骼埋胔之令、推恩及於枯骨。近世狃於胡俗、或焚之而投骨於水、孝子慈孫、於心何忍。傷恩敗俗、莫此為甚。上曰、此王道之言也。自是王師所臨、見枯骸、必掩埋之而後去。洪武三年、禁止浙江等處水葬火葬。中書省禮部議、以民間死喪、必須埋葬、如無地、官司設為義塚、以便安葬、並不得火化、違者坐以重罪。如亡沒遠方、子孫無力歸葬者、聽從其便。刑部著之律令。斯法也、我聖祖可謂體天地之仁矣。

